

## 体験型講義「エンプロイアビリティ」

～体験型講義や、研究生生活、他の講義で習得したスキルや経験を生かしてみましょう～

体験型講義は研究分野の枠組を超えて求められる、リーダーシップ、マネジメント、チームビルディング等に関する基本概念を、体験を通して習得すると同時に、事例分析や比較分析を通して、その基本知識を体系的に学修することを目的とします。

「エンプロイアビリティ」はアドバンスコースとして、大学院で求められる実践力を養います。自らのキャリア・ライフを考え、多彩なキャリア・パスの中から自分に適した資質・能力を形成する糸口を掴むため、『座学』と『グループワーク (PBL)』という形で進めていきます。『座学』では、自己理解、基礎的スキル等を知り、その理解とスキルを「グループワーク」で体感します。

開講期 春学期 火曜日 2限 (10:30～12:00) ※初回授業 5月7日 (火)

担当教員 森 典華・船津 静代 (キャリアサポートセンター教員)

使用言語 日本語

※講義は日本語で行いますが、グループワークは、学生同士で日本語、英語いずれでも意思疎通が図れる言語で進めていきます。留学生の受講も歓迎です。

開講形態 対面授業科目 (一部遠隔：同時双方向あり)

※基本は対面講義ですが、学会など遠隔にいる場合にはハイブリッドで参加することも認めます。学外見学・ヒアリングも予定しています。

対象 全研究科の博士 (前期・後期) 課程の学生 (企業に就職経験のない大学院生にお勧めです。)

※授業内で企業情報を扱います。また、授業時間帯以外でのワークがあるため、社会人大学院生の受講については個別に相談させていただきます。

内容 多様な国籍、学年、分野、多彩なキャリアプランを持った学生とともに、課題に対して【アイデアを出し、議論し、企画提案する】という一連の流れを経験します。

これは、多様な人材とプロジェクトを動かす経験や、社会課題や市場を考えていくことの必要性を知る機会となります。

また、自分の人生において必要なスキルや価値観を理解し、これからの大学院生活でどのようなことを意識して研究活動をするよいか、自らのキャリア・ライフを検討する機会にもつながります。

#### <ポイント>

この講義を通じて、企業や社会の現状を知ることができます。

エンプロイアビリティとは、雇用したいと思ってもらえるような力、魅力的で協働したいと思う人が持っている能力のことです。自分の強みを理解し、発揮するにはどうするよいかを講義の中でふり返りながら実感していきます。

キャンパスから出て、社会を見て、五感で状況を感じ取り、課題をチームで考えていただきます。長期のインターンシップに参加することができない方にとって、短期で企業や社会の現状を知り、ディスカッションをするよい機会にもなります。

注意事項 本講義はチーム活動を行うため、最少開講人数を4名とします。

受講希望者は **初回<5/7 (火) 2限>** の授業に参加してください。

本年度の内容や講義の進め方をお話しします。その後履修登録ができます。

希望者は、**4月30日**までにメールで下記担当教員までご連絡ください。折り返し初回の講義室等をお知らせします。

担当教員：森典華 <mori.norika.b2@f.mail.nagoya-u.ac.jp>

メール件名：体験型講義受講希望

メール本文：氏名 (ふりがな)・所属研究科・学年・学生番号

※受付締切 4月30日 (火)